



Annual Report 2022



2022年度活動報告書

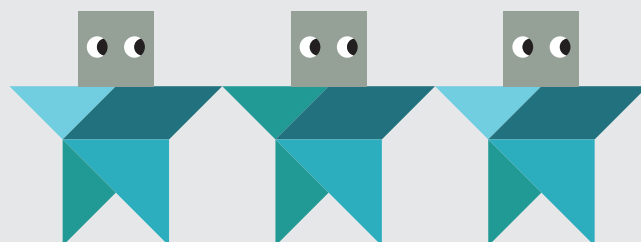
メッセージ

活動概要、活動マップ

活動実績

活動年表

活動計算書



サッカクシャ



<https://sankakusha.or.jp>



代表理事

荒井 佑介

サンカクシャは、親や身近な大人を頼ることができない15～25才くらいの若者が、孤立せずに自分の生きる道を見つけられるように、一人ひとりに寄り添いつながり続ける支援をしています。

2019年5月の団体設立から4年、居場所づくりから始まり、現場で出会う若者のニーズに応えながら仕事や住まいの支援へと活動の幅を広げてきました。2022年度は、若者からの相談が増え、より一層生活に困窮している若者を支えることに取り組んできました。住まいの支援の拡充や深夜の居場所作りなど、より大変な領域に注力しました。

若者がさまざまな体験をしながら社会とつながり、自信を回復し、自立していく過程で、多くの皆さまにご支援をいただき感謝しています。これからも開かれたNPOとして、皆さまと共に、若者が社会の中で生き抜いていけるよう応援していきたいと考えています。



「居場所」「仕事」「住まい」の3つを柱に、個々の若者の相談にのりながら、必要な支援を提供します。これまでに250人を超える若者を支援してきました。

イバシヨ

どんな若者も自由に過ごせ、仲間や安心できる大人に出会える居場所。ここから社会につながっていく、サンカクシャの活動のハブ的な存在です。

シゴト

働くことに不安がある若者に丁寧に伴走し、さまざまな経験を重ねながら一歩ずつ自分の道を進んでいけるようサポートしています。

スマイ

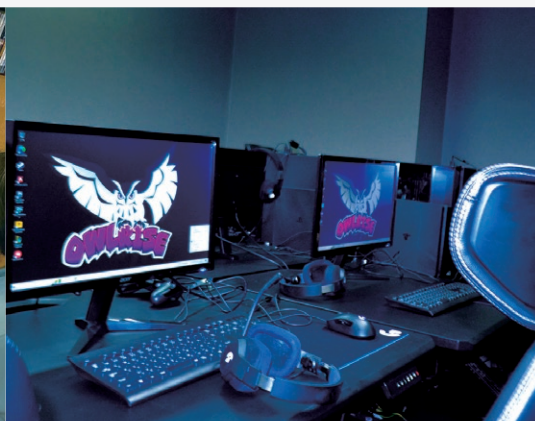
シェアハウスを都内3カ所で運営。家を失った若者に安心して帰れる場所を提供することを入り口に、自立までを支援しています。

活動拠点 (2023年3月末現在)





安心・体験・交流に支えられた
自分らしく過ごせる相談窓口



📍 サンカクキチ

開放日数 **152回**

来所者実数 **95名**
(延べ1307名)

伴走者実数 **113名**
(延べ912名)

見学者数 **114名**

上池袋に構えた拠点「サンカクキチ」は、若者と繋がるための相談窓口であると同時に、彼らが自由に過ごすことのできる居場所です。

ワーキングスペースやeスポーツ施設を併設している他、リビングスペースにはボードゲームや書籍、TVゲームもあり、個々の興味関心に合わせた利用ができることが特徴です。食事の提供も行っており、まずはこの場所で心と体を落ち着かせながら、一人ひとりに合わせた社会サンカクを目指します。

ここでスタッフやオトナリサン*、近い年代の若者と交流しながらお互いに信頼関係を築くことで相談のハードルを下げ、サンカクシャ内のリソースや公的な制度など適切なサポートにつないでいきます。

*サンカクシャでは私たちの理念に共感し、若者を応援したいという気持ちを持った人たちをオトナリサンと呼んでいます。

地域との交流の拠点でもあり、「Cleanup & Coffee Club*」など近隣コミュニティとの連携も生まれています。

*東池袋のポップアップスペース「ひがいけポンド」から始まったゴミ拾いとコーヒータイムをきっかけに地域内にゆるい繋がりを生む企画

毎週水曜・木曜・土曜 14:00 - 20:00で開放
(2023年3月より14:00 - 21:00で開放)

火曜は個別対応日として利用が可能

📍 文京区拠点

2022年9月
サンカクキチに統合

開放日数 **58回**

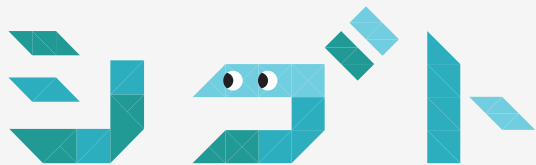
来所者実数 **31名**
(延べ325名)

伴走者実数 **58名**
(延べ327名)

伴走者：活動に伴走するスタッフ、ボランティアの数

頼れる先が増えたことは良い進歩だと思います。以前は話さなかった人とも活動を通して会話する機会が増えました。

居場所を利用する若者の声



若者が社会に一步踏み出す自信を 獲得するためのサポート

若者にとって安心できる人や環境のもとで、多様な体験機会を提供しています。さまざまな背景により自らチャレンジできない若者を、スタッフだけでなく、周りの大人と一緒に支えることで成功体験につなげています。

サンカククエスト

240回実施

参加者実数 **53名** 伴走者実数 **33名**
(延べ335名) (職員除く)

「サンカククエスト」では、仕事体験を通して、誰かの役に立つ喜びや経験値、人とのつながりを得ることを目指しています。若者を応援したいと思う方から、接客や軽作業など、さまざまなクエスト（仕事）を依頼してもらうおかげで、若者が自信をつけ、アルバイトの仕事に就いたケースもあります。

Appleプログラム

5週間、週2回実施 (全9回 37時間以上)

参加者実数 **17名** (定員15名)

2022年6月～7月に実施された「Today at Apple Creative Studios」のプログラム*では、Apple社のスタッフと交流しながら写真や動画の技法を学び、若者たちが表現を楽しむとともに、自分の好き・嫌いを見つめる時間となりました。

*Apple Store（アップルストア）で無償開催されているワークショップ「Today at Apple」の拡大版として、機会に恵まれない若者にクリエイティブの力を伝えようと、世界のApple Storeで実施しているプログラム

ブカツ

86回実施

参加者実数 **54名** (延べ267名)

「ブカツ」は若者と大人が共通の体験を通して同じ時間を分かち合い、関係を深められる機会として設計しています。活動は若者やオトナリサン、スタッフの興味関心を起点に企画が立ち上がり、現在では映画鑑賞会や読書会、編み物の体験などを始めさまざまな活動が実施されています。

自分より年上の人のバイトや仕事の話を聞けて、人生の選択肢の幅が増えたと思います。今までしたことのない仕事で、達成感がありました。色々なお話も聞けて楽しかったです。

「サンカククエスト」を利用する若者の声

この場では受け入れてもらえることに安心したし、全員がいい作品をつくるために打ち込んでいたから、自分も精一杯できて楽しかったです。

「Appleプログラム」参加の若者の声





住まいを失った若者が自立できるまで 継続的にサポート

シェアハウス入居者数 **14名**
(2023年3月末)

継続的な個別相談 **25名**
(2023年3月末)

退去者数 **19名** (2022年度累計)

サンカクハウス

上中里（北区）男性向け
東池袋（豊島区）男性向け
大山（板橋区）女性向け

駒込（北区）は2022年12月に閉鎖

3カ所のシェアハウス「サンカクハウス」で、入居者に安心できる環境を提供しながら、1年～1年半程度で卒業（退去）して自分の力で生活することを目標に支援をします。個々の状況や希望に応じて、居場所での活動や仕事のサポートにつなげ、公的機関とも連携しながら包括的な支援を提供していきます。

2022年末より、帰る家がない若者からのSNS等を通じた相談が急増し、月に20件ほど新規の相談に対応しています。相談の増加を受け、2023年度はシェアハウスを増やすと同時に賃貸アパートの借り上げによる個室のシェルターも開設し、短期滞在や共同生活が困難な若者のニーズにも対応できる体制にしています。

最初に来た時は、朝寝で夜起きる生活でしたが、夜寝て朝起きる生活ができるようになってきました。いつもお米があること、何かあったら相談できるスタッフがいることがありがたいです。対人関係で歳上の人も関わることができて、いい刺激になっています。

入居中の若者の声

お米を炊いたこともなかったのですが、自炊をするようになりました。シェアハウスだけでなく居場所があることで、一人じゃないという安心感が増していきました。アルバイトの経験も積ませてもらいました。

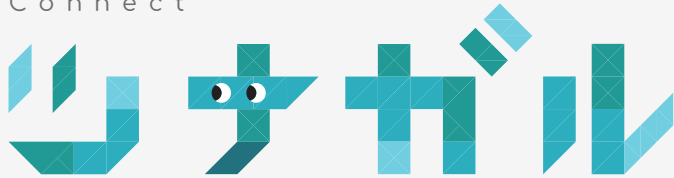
入居中の若者の声

シェアハウスを利用した若者の調査を実施

家に帰れない／帰りたくない若者の実態や支援における課題を把握するために、シェアハウス利用者にアンケートおよびインタビュー調査を実施しました（2023年1月～2月）。調査では、居住支援を行う民間団体につながる若者の生い立ちや、支援につながるまでの経緯、行政による支援の利用有無、サンカクシャの支援が提供している価値や必要な機能などが確認できました。

調査結果は右記リンクよりご覧いただけます。 <https://www.sankakusha.or.jp/2023/04/07/news-80/>





困難を抱えた若者と つながるために



YouTube チャンネル「サンカク相談室」

若者向けに、サンカクシャの活動や雰囲気を発信する公式チャンネルを開設。サンカクシャを利用している若者と意見を交わしながら、デザイン会社ヒゲプロ様の力を借りて動画を制作しました。若者も動画撮影・出演に携わり、クリエイティブな仕事を体験する機会にもなりました。制作メンバーが楽しく参加していたこともあり、サンカクシャらしい、ゆるやかな空気を感じられます。

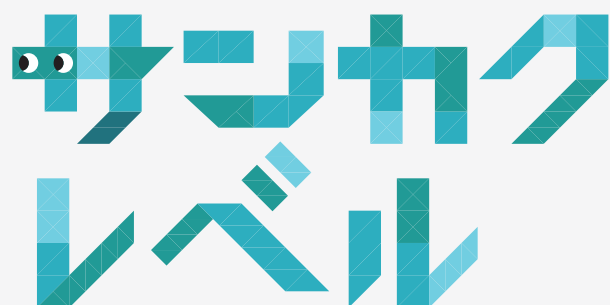
ゲームをきっかけとしてつながる

既存の支援につながりにくい若者と出会うために、ゲームを通じた支援を実施しています。株式会社サイコム様よりゲーミングPC8台をご提供いただき、サンカクキチ内にeスポーツ施設を開設しました。また、オンラインゲームでの相談支援を実施したり、eスポーツ大会などを通じて人との交流の機会も創出しています。



夜の居場所開放「ヨルキチ」

夜に行き場のない若者のためにサンカクキチを夜通し開放する「ヨルキチ」。2022年10月、11月に各1回、公的機関が休みに入る前で相談が増える傾向にある金曜日の夜に試験的に行ったところ、多くの若者の参加がありました。このトライアルを経て、2023年4月からは、毎月第2・4金曜日に実施し、SNSなどによる情報発信を通じて新規の相談につなげています。



若者の変化を可視化する指標「サンカクレベル」

「他者との関係構築」と「自分に対する認識」という2つの観点について、若者とスタッフがアンケート形式で回答します。2021年7月から数ヵ月ごとにデータをとっており、少しずつスコアが上がっていく若者もいれば、新しい環境に挑戦して、上手いかずに落ち込む若者もいます。

サンカクレベルは、一側面ではありますが、若者一人ひとりの変化を掴むことに役立っています。



寄付やボランティアで若者を支えるサポーターになりませんか？



寄付する



サンカクシャは、2019年5月に居場所事業をスタートして以来、居場所提供から、仕事、住まいの支援へと活動の幅を広げてきました。この間、一人ひとりの若者に寄り添いサポートする活動を続けてこられたのは、皆さまから託していただいたご寄付のおかげです。心よりお礼申し上げます。これからも、より多くの若者に、より丁寧な支援を届けられるように、寄付でのご支援をお願いいたします。

また、ボランティアやプロボノと一緒に活動を作っていただける方も募集しています。下記、リンクよりお問い合わせください。

<https://www.sankakusha.or.jp/contact/>



法人の方へ

サンカクシャでは若者の「やってみたいこと」や「興味のあること」を応援したいと考えていますが、それには、皆さまのお力が必要になります。各企業に合った連携の形を一緒に模索できればと思っておりますので、ぜひ、お気軽にご連絡ください。

企業連携の事例

イケア・ジャパン株式会社 様



若者の居場所「サンカクキチ」開設にあたり、インテリアのご提案と家具の寄贈をいただきました。オープン前から、イケアのスタッフの皆様による場作りのためのワークショップを実施し、居場所を利用する若者たちよりアイデアを募りました。家具の組み立ても若者と一緒に行っていました。

株式会社トライ 様



法人寄付や若者の仕事体験プログラム「サンカククエスト」を通じてご支援いただいています。ノベルティグッズの袋詰めの仕事が若者が体験したことから発展して、事業内容に興味のある若者の企業訪問も受け入れていただきました。

助成金一覧

アウトリーチ・居場所作り

(一財) 日本民間公益活動連携機構 (資金管理団体: READYFOR (株)・(特非) キッズドア) /
(一財) 日本民間公益活動連携機構 (資金管理団体: (特非) 育て上げネット・READYFOR (株)) /
(福) 中央共同募金会 / (福) 文京区社会福祉協議会

社会参画

(株) セールスフォース・ドットコム / Okta, Inc. /
Apple Japan (同) / (公財) つなぐいのち基金 /
(一社) ジャパン・フィランソロピック・パートナー /
(公財) パブリックリソース財団 /
(公財) ベネッセこども基金

居住支援

(一財) 日本民間公益活動連携機構 (資金管理団体: (公社) ユニバーサル志縁センター) /
(福) 中央共同募金会

2022年度 活動年表

2022年6月	eスポーツチーム「OWLRISE（アウルライズ）」を立ち上げ
	「Today at Apple Creative Studios」プログラムを協働
8月	初の女性用シェアハウスを大山に開設
9月	ウェブサイトリニューアル
	文京区の居場所事業を豊島区のサンカクキチに統合
10月	深夜の居場所開放「ヨルキチ」初トライアル実施
2023年2月	株式会社ジンジブと若者の就職支援で協業開始
	「当事者クリエイター塾 with TikTok」参加
3月	2023年3月 YouTubeチャンネル「サンカク相談室」開設

2022年度 活動計算書

2022/04/01-2023/03/31

経常収益計	62,888,654
経常費用計（事業費+管理費）	79,781,406
当期経常増減額	▲16,892,752
当期正味財産増減額	▲17,091,052
次期繰越正味財産額	18,747,420

経常費用（事業費）			
	科目	特定非営利活動 法人に係る事業	合計
人件費	給料手当	15,724,875	16,696,726
	法定福利費	3,283,763	3,283,763
その他経費	業務委託費	23,050,675	23,050,675
	印刷製本費	41,385	41,385
	会議費	111,574	111,574
	旅費交通費	1,780,574	1,780,574
	車両費	369,293	369,293
	通信運搬費	973,637	973,637
	消耗品費	6,861,303	6,861,303
	修繕費	225,630	225,630
	水道光熱費	723,704	2,345,075
	地代家賃	2,810,000	2,810,000
	賃借料	139,028	139,028
	保険料	81,300	81,300
	支払手数料	4,655,847	4,655,847
	雑費	1,303,049	1,303,049
	支払支援金	6,000	6,000
	若者家賃		7,556,000
	計	62,141,637	72,290,859

経常収益			
	科目	特定非営利活動 法人に係る事業	合計
受取会費	正会員受取会費	60,000	60,000
受取寄付金	受取寄付金	9,353,717	9,353,717
受取助成金等	受取民間助成金	49,124,580	49,124,580
事業収益	子ども若者の居住支援事業		3,151,354
	子ども若者の社会参画支援事業		811,980
雑収益	講演料他		386,805
	受取利息	218	218

経常収益計	58,538,515	62,888,654
-------	------------	------------

経常費用（管理費）			
	科目	特定非営利活動 法人に係る事業	合計
人件費	給料手当	593,875	593,875
	法定福利費	82,437	82,437
その他経費	福利厚生費	16,519	16,519
	業務委託費	4,427,500	4,427,500
	会議費	5,100	5,100
	旅費交通費	104,011	104,011
	通信運搬費	90,371	90,371
	消耗品費	18,882	18,882
	保険料	85,462	85,462
	租税公課	6,900	6,900
	研修費	469,000	469,000
	支払手数料	1,312,014	1,312,014
	支払利息	92,840	92,840
	広告宣伝費	185,636	185,636
	計	7,490,547	7,490,547

経常費用計	69,632,184	79,781,406
-------	------------	------------